

第11回

日本の祭シンポジウム

日時 令和5年 9月17日(日)

13:00(開場)～16:00

場所 犬山市民交流センター フロイデ 4F (名鉄犬山駅 東口徒歩5分)
犬山市松本町4丁目21 TEL 0568-61-1000

入場無料

開会 13:30～13:40

第一部 13:40～14:40

基調講演

千年持続型社会における祭～なぜわれわれは祭をやるのか～

講師 石田 芳弘氏 学校法人至学館コミュニケーション研究所客員教授

第二部 14:50～16:00

パネルディスカッション

◆パネリスト	寺地 亮平氏	高山屋台保存会
	伊藤 守氏	桑名石取祭保存会
	山田 忠平氏	郡上おどり保存会

◆ファシリテーター	石田 芳弘氏	(一社)犬山祭保存会
-----------	--------	------------



共催 学校法人至学館コミュニケーション研究所
愛知県大府市横根町高山55
TEL 090-4253-7065

あいち山車まつり日本一協議会
(愛知県・市町村・保存団体)
事務局 愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室内
TEL 052-954-6783

後援 国土交通省中部運輸局 / 全国山・鉾・屋台保存連合会 / コミュニティ政策学会 / 中日新聞社

開催にあたりまして

**あいち山車まつり日本一協議会会長
愛知県知事 大村 秀章**

愛知県には、150を超える山車まつりと400輛を超える山車があり、全国有数の山車まつりが所在する地域です。

祭は、その地域を代表する伝統文化であり、地域の「元気の源」、「宝」です。祭が現在まで保存・継承されてきましたのも、祭人の気概と心意気の賜物であります。

2020年以降、約3年にわたって続いたコロナ禍を乗り越え、祭本来の姿が復活しつつあります。一方、時代の変化に伴い、祭の存続には様々な課題もあります。

今回の御参加をきっかけに、祭に対して一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

**至学館大学
学長 谷岡 郁子**

20世紀末、世界の頭脳が集まったローマクラブがこのまま地球の資源を食い尽くすと人類の生存は危機にさらされるという警告を発しました。それを受けて2002年地球サミットが開催され、「脱・GDP」というビジョンが提示されました。そして我が国の文科省が「千年持続学」なるものを提唱し、私もその提言に加わりました。

ここに日本の祭が登場するのです。

今年で11回目になる「日本の祭シンポジウム」は、石田芳弘客員教授の「なぜわれわれは祭をやるのか」という基調講演を受けて、ユネスコ無形文化遺産の高山祭、桑名石取祭、郡上おどりのリーダーからそれぞれの祭の実践について語っていただきます。

祭は人類の進化の過程で獲得した社会性を「絆」という形で表現したものです。ですから千年持続してきたのです。

今年もこのシンポジウムに集う皆さんの絆が深まりますよう祈念いたします。